

積立投資に係る意識調査（グループインタビュー） 報告書

2023年10月



一般社団法人
投資信託協会

I. 調査概要	P.2
II. 調査のまとめ	P.7
III. 調査結果詳細	P.11
APPENDIX	P.24

I. 調査概要

1. 調査概要

調査の目的	積立投資の実施阻害要因を明らかにし、今後のコミュニケーションのヒントを得ること
手法	グループインタビュー
地域	首都圏
グループ数	3グループ（1グループ6名）
対象者条件	<p>20～30代で投資信託による積立投資を直近1年以内に開始した人 Gr1 男性グループ （未婚者と既婚者半々程度） Gr2 女性グループ （未婚者と既婚者半々程度） 20～30代で投資信託による積立投資を実施しようと思っているが未だ行動していない人 Gr3 女性グループ （未婚者と既婚者半々程度）</p> <p>対象者条件設定の背景 直近1年以内に積立投資を実践した若年層(Gr1及びGr2)から、投資意向がありながら未だ行動に至っていない若年層(Gr3)との意識の差を探ると同時に、積立投資に係る有効な情報について定性調査を行うべく上記グループを設定した。</p>
調査実施機関	株式会社電通

2. 対象者リスト

Gr1 積立投資実施層 男性

NO	年代	住所	未婚/子ども有無	本人職業	世帯主職業	資産運用開始時期	金融商品 ●初めて利用したもの	運用口座
1	20代	千葉県	未婚	学生	公共サービス	半年以内	●投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座
2	20代	神奈川県	未婚	情報サービス	本人が世帯主	半年以内	●投資信託（つみたて投資をしている） 株式（自社・グループ会社の持ち株は除く）	つみたてNISA口座
3	20代	東京都	未婚	中間流通業	本人が世帯主	半年以内	●投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座
4	30代	神奈川県	既婚/子なし	児童・福祉サービス	本人が世帯主	1年2カ月前	●投資信託（つみたて投資をしている） 株式（自社・グループ会社の持ち株は除く）	つみたてNISA口座 iDeCo口座
5	30代	東京都	既婚/子あり	物流業	物流業	半年～1年以内	●投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座
6	30代	東京都	未婚	飲食業	本人が世帯主	半年～1年以内	●投資信託（つみたて投資をしている） 投資信託（タイミングを見て投資をしている）	つみたてNISA口座 証券会社の一般／特定口座

2. 対象者リスト

Gr2 積立投資実施層 女性

NO	年齢	住所	未既婚/子ども有無	本人職業	世帯主職業	資産運用開始時期	金融商品 ●初めて利用したもの	運用口座
1	20代	東京都	未婚	情報サービス	本人が世帯主	半年以内	●投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座 iDeCo口座
2	20代	東京都	未婚	製造業	本人が世帯主	半年以内	●投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座 企業型DC 銀行の投資信託口座
3	20代	神奈川県	既婚/子なし	医療・福祉サービス	建設業	半年以内	投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座
4	30代	東京都	既婚/子あり	物流業	物流業	半年以内	●投資信託（つみたて投資をしている） 株式（自社・グループ会社の持ち株は除く） 投資信託（タイミングを見て投資をしている）	つみたてNISA口座 証券会社の一般／特定口座
5	30代	東京都	既婚/子なし	医療・福祉サービス	小売業	半年以内 2022年10月か11月に運用を開始した	●投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座
6	30代	埼玉県	既婚/子なし	専門・技術サービス業	専門・ 技術サービス業	半年以内	●投資信託（つみたて投資をしている）	つみたてNISA口座

2. 対象者リスト

Gr3 積立投資未実施層 女性

NO	年齢	住所	未既婚/ 子ども有無	本人職業	世帯主職業	「有価証券」での資産運用状況	インタビュー前の意識
1	20代	埼玉県	未婚	学生	無職	検討しているが、未だ開始していない	投資は将来に向けた備えとして必要だと思う：あてはまる 投資は第2の収入源として役立つと思う：あてはまる 投資は自分にもできそうだと思う：あまりあてはまらない 投資は誰にとっても必要なものだと思う：あてはまる 資産運用をしたいが、運用に回すお金がない：あてはまる 支出を見直せば、無駄遣いや使う必要のないものがあると思う：あてはまる
2	20代	埼玉県	未婚	電気通信業	物流業	検討したことはないが、今後検討してみたいと思っている	投資は将来に向けた備えとして必要だと思う：ややあてはまる 投資は第2の収入源として役立つと思う：あてはまる 投資は自分にもできそうだと思う：あまりあてはまらない 投資は誰にとっても必要なものだと思う：ややあてはまる 資産運用をしたいが、運用に回すお金がない：あてはまる 支出を見直せば、無駄遣いや使う必要のないものがあると思う：ややあてはまる
3	20代	神奈川県	未婚	児童・ 福祉サービス	本人が世帯主	検討したことはないが、今後検討してみたいと思っている	投資は将来に向けた備えとして必要だと思う：ややあてはまる 投資は第2の収入源として役立つと思う：ややあてはまる 投資は自分にもできそうだと思う：あまりあてはまらない 投資は誰にとっても必要なものだと思う：ややあてはまる 資産運用をしたいが、運用に回すお金がない：あてはまる 支出を見直せば、無駄遣いや使う必要のないものがあると思う：あてはまる
4	20代	神奈川県	既婚/子あり	専業主婦	旅客運送業	検討したことはないが、今後検討してみたいと思っている	投資は将来に向けた備えとして必要だと思う：あてはまる 投資は第2の収入源として役立つと思う：あてはまる 投資は自分にもできそうだと思う：あてはまる 投資は誰にとっても必要なものだと思う：あてはまる 資産運用をしたいが、運用に回すお金がない：ややあてはまる 支出を見直せば、無駄遣いや使う必要のないものがあると思う：ややあてはまる
5	30代	埼玉県	既婚/子あり	専業主婦	建設業	検討したことはないが、今後検討してみたいと思っている	投資は将来に向けた備えとして必要だと思う：ややあてはまる 投資は第2の収入源として役立つと思う：あてはまる 投資は自分にもできそうだと思う：ややあてはまる 投資は誰にとっても必要なものだと思う：どちらともいえない 資産運用をしたいが、運用に回すお金がない：どちらともいえない 支出を見直せば、無駄遣いや使う必要のないものがあると思う：あてはまる
6	30代	東京都	既婚/子なし	専業主婦	不動産業	検討しているが、未だ開始していない	投資は将来に向けた備えとして必要だと思う：あてはまる 投資は第2の収入源として役立つと思う：あてはまる 投資は自分にもできそうだと思う：ややあてはまる 投資は誰にとっても必要なものだと思う：ややあてはまる 資産運用をしたいが、運用に回すお金がない：まったくあてはまらない 支出を見直せば、無駄遣いや使う必要のないものがあると思う：あまりあてはまらない

Ⅱ. 調査のまとめ

1. 積立投資実施の阻害要因

投資信託による積立投資未実施層の最も大きな阻害要因は「元本割れ」に対する恐怖心と考えられる。

社会環境要因

- 日本の社会が「お金の話」に対するタブー感を持っている。
- 身近な人が株式投資などで失敗した情報を聞いている。
- 「投資」や「有価証券」にネガティブなイメージを持っている。
- 「投資」には一定の資金や余裕資金が必要であると思っている。

金融業界要因

- 「投資信託」という言葉が難しいイメージを持っている。
- NISAなどのポジティブな内容の広告や情報が急激に増えていることに抵抗感を持っている。
- 証券会社などのホームページのユーザーインターフェースが悪いことに抵抗感を持っている。

個人要因

- リスク、特に「元本割れ」に対する恐怖感を感じる。
- 自分の理解力や知識では、投資商品を理解することができず、投資センスがないと思っている。
- 職業や結婚に関する人生設計が決まっておらず長期的な積立などへの関心が持てない。
- 日常的に余裕資金が無いことから「自分には投資はできない」と思っている。

2. 積立投資実施の要因・きっかけ

積立投資実施層は、身近な人から投資に関する情報や助言に接する機会があり、さらにSNSや動画、ポイント連携、カード連携などで日常的かつ自然に投資に関する情報に触れていた。

きっかけとなる 生活環境

- 親、祖父母、配偶者、パートナー、友人などが投資や投資信託で成功した話を聞く環境にある。
- 親、祖父母、配偶者、パートナー、友人などから投資や投資信託に関する助言が得られる環境にある。
- 職場の研修やサークルなどの会合で投資に関する情報を得ていた。
- 結婚・出産などライフステージが変化したりライフイベントが発生し、教育資金や老後資金について考える機会があった。

きっかけとなる 情報やサービス

- 分かりやすいリスクや利回りの情報に触れていた。
- 買い物にポイントが連動し、そのポイントで投資できた。
- クレジットカードやクレジットカードのアプリと連動し、そこから投資できた。

きっかけとなる 経路

- ローンや各種手続き時の金融機関の窓口の担当者。
- 保険の見直し時のファイナンシャルプランナー。
- 投資関連検索ワードだけでなく、「節約術」「1人暮らし」など幅広いワードと連動したSNSの短時間動画。また短時間動画と連動したより詳細な長時間動画。動画の発信者は、金融機関であれば特に有効。
- Amazonのランキングや書店の陳列で目につく書籍。

3. 提示資料への感想

積立投資実施層は、提示資料に対してポジティブな印象を持つ傾向にある。積立投資未実施層で、自身の将来設計が定まっていない人は、提示資料にネガティブな印象を持つ傾向にあるが、提示資料に対してポジティブな印象を持つ人は、積立投資開始のきっかけになり得る。

積立モデルシミュレーション (p.29)

- 積立モデルシミュレーションをポジティブに捉える人は、積立投資未実施者であっても「すぐにでも始めたい」と積極的姿勢に転換している。
- 将来設計が定まっていない人は、積立モデルシミュレーションをネガティブに捉える傾向にある。
- 過去40年の実績から算出したデータであったが、積立投資を実施していない人のなかには、1%未満の元本割れの可能性にすら恐怖心を抱いている人がいた。

ポートフォリオ (p.31)

- 将来設計が定まっている人は、積立投資実施の有無にかかわらず家計金融資産ポートフォリオ例の情報全般にポジティブな感想を持つ人が多い。
- 将来設計が定まっていない人は、家計金融資産ポートフォリオ例の情報全般にネガティブな感想を持つ人が多い。

ドルコスト平均法 (p.32)

- 積立投資実施者は、全員がイメージ通りであると感じ「ドルコスト平均法」にポジティブな感想を持っている。
- 積立投資未実施の未婚層は、長期の未来への関心が無いなど「ドルコスト平均法」にネガティブな感想を持っている。
- 積立投資未実施の既婚層は、「ドルコスト平均法」をポジティブに評価し、「イメージ通り」「積立への理解が促進された」なども感想を持っている。

Ⅲ. 調査詳細結果

1. 周囲の投資状況

◆全体傾向

- **積立投資実施層**は、親、祖父母、配偶者、パートナーなど**身近な人が投資**しているケースが多い。
- 現在投資をしていない人は、**配偶者が投資行動**をしていることが投資への関心のきっかけの1つになっている。
- 親や祖父母の株式による**投資の成否**や、**助言内容**がその後の投資行動に影響を与えている。

◆積立投資開始前後

積立投資実施層	積立投資未実施層
<ul style="list-style-type: none">• 父や祖父が株式に投資している人が4人いる。うち1人は株式への投資で損をしている。• 父や祖父が不動産に投資している人が2人。金、国債、何らかの投資をしている人が各1人いる。• 夫が投資信託に投資している人が1人いる。• 以前のパートナーが投資信託に投資している人が1人いる。	<ul style="list-style-type: none">• 父や祖父が株式に投資している人が1人いる。この1人の父は株式への投資で損をしている。• 夫が共通ポイントで投資信託に投資をしている人が1人いる。• 夫が株式・ビットコインに投資している人が1人いる。

◆未既婚

未婚	既婚
<ul style="list-style-type: none">• 父や祖父が株式に投資している人が3人いる。うち1人は株式への投資で損をしている。• 父が金、国債に投資している人が各1人いる。• 以前のパートナーが投資信託に投資している人が1人いる。	<ul style="list-style-type: none">• 父や祖父が株式、不動産に投資している人が各2人いる。• 夫が投資信託に投資している人が2人。株、ビットコインに投資している人が1人いる。

◆性別

男性	女性
<ul style="list-style-type: none">• 父や祖父が株式に投資している人が3人いる。不動産、金、国債、何らかの投資をしている人が各1人いる。• 以前のパートナーが投資信託に投資している人が1人いる。	<ul style="list-style-type: none">• 父や祖父が株式に投資している人が2人。不動産に投資している人が1人いる。• 夫が投資信託に投資している人が2人。株式、ビットコインに投資している人が1人いる。

2. 最近の大きな出費・将来かかりそうな出費

◆全体傾向

- 将来かかりそうな出費について**既婚者は子どもの教育資金**という回答が多い。
- 将来かかりそうな出費について**男性は未既婚問わず中長期の時間軸**の回答が多い。
- 将来かかりそうな出費について**未婚女性は短期的、既婚女性は中期的時間軸**の回答が多い。

◆積立投資開始前後

積立投資実施層	積立投資未実施層
<ul style="list-style-type: none">● 最近の出費は家を買った人、引っ越しをした人が各3人いる。それ以外に自分の学費、車、旅行が各1人いる。未婚男性のうち2人は大きな出費は無い。● 将来かかりそうな出費は老後資金が5人、子どもの教育資金、家電が各3人いる。● 旅行、家が各2人、結婚式・出産が各1人いる。	<ul style="list-style-type: none">● 最近の出費は家電が2人、自分の学費、旅行、引っ越し、出産が各1人いる。● 将来かかりそうな出費は1人暮らしのための費用、子どもの教育資金が各3人いる。● それ以外に自分の学費、出産、車、家が各1人いる。

◆未既婚

未婚	既婚
<ul style="list-style-type: none">● 将来かかりそうな出費について男性未婚が老後や子ども教育資金との回答が多い一方、女性の未婚は家電や1人暮らしのための費用という回答がある。	<ul style="list-style-type: none">● 将来かかりそうな出費について既婚は男女とも子どもの教育資金という回答が多いものの、事実婚や子どもないカップルは将来の大きな出費についてのイメージはややあいまいである。

◆性別

男性	女性
<ul style="list-style-type: none">● 将来かかりそうな出費について男性は未既婚問わず老後や子どもの教育資金など中長期的な時間軸の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none">● 将来かかりそうな出費について未婚の女性は長期的な未来は分からない面もあり1人暮らしのための費用や家電など比較的短期の時間軸の回答があり、既婚の女性は子どもの教育資金など中期的な時間軸の回答が多い。

3. <Gr3>金融に対するイメージ(投資・有価証券/投資信託)

◆全体傾向

- 「投資・有価証券」に対しては全員が**ネガティブ**なイメージを持っている。
- 「投資信託」に対しては**メリットに関する情報が届いており**ポジティブなイメージもある。
- 「投資信託」のメリットに関する情報の理解が浅いため疑心暗鬼になり**ネガティブ**なイメージとして理解されているケースがある。

◆金融に関するワード

投資・有価証券		投資信託	
未既婚問わず「投資・有価証券」に対してネガティブなイメージを全員が持っている。		未既婚問わず「投資信託」に関する情報は全員に届いている。メリットに関する情報も届いているものの、メリットがネガティブなイメージに理解されているケースが多い。	
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
<ul style="list-style-type: none">・気軽にできる。(1人)	<ul style="list-style-type: none">・余裕資金、一定の金額以上のお金が必要。(4人)・知識、センス、難しいことを理解する能力が必要。(4人)・損をするリスクがある。(3人)	<ul style="list-style-type: none">・少額からできる。(2人)・初心者でも簡単にできる。(2人)	<ul style="list-style-type: none">・最近急に広告や情報が出てきて不安である。(2人)・簡単にできる反面勝手に運用されて不安である。(2人)・話がうますぎてかえって不安である。(2人)・「投資信託」という言葉が難しい。(1人)

4. <Gr3>積立投資を始める条件

◆全体傾向

- 積立投資を始めていない既婚者には、投資を始める決断に必要な内容の情報を**金融機関からSNSの動画**で発信することが有効である。
- 預金では**インフレなどのリスク**に対応できないことは理解されている。
- 積立投資を始めていない未婚者の中には、**長期スパンで物事を考えることをしない層**が一定割合いる。

◆積立投資を始める条件

●タイミング

未婚	既婚
<ul style="list-style-type: none">・100万円貯まったら始める。・50万円～100万円貯まったら始める。・就職2年目で税額が確定し、100万円程度貯まったら始める。	<ul style="list-style-type: none">・投資信託に関する勉強をして理解出来たら始める。(投資をしている夫が説明してくれるが理解できない)。(2人)・嗜好品を止めて、ある程度(100万円までいかない)余裕資金ができれば始める。

●納得できる投資信託

未婚	既婚
<ul style="list-style-type: none">・元本保証をしてくれる商品があれば始める。(3人)	<ul style="list-style-type: none">・ローリスクで自分にメリットがある商品があれば始める。(2人)・全額でなくても一定額の元本保証があれば始める。

●預金と投資信託の比較

預金について	投資信託について
<ul style="list-style-type: none">・預金は低金利のためインフレリスクに対応できない。(4人)・銀行の破綻リスクがある。(2人)	<ul style="list-style-type: none">・投資信託を始める決断をする情報に出会っていない。(5人)<ul style="list-style-type: none">– 投資信託の運用実績情報。(2人)– 預金と投資信託の比較。(2人)– 投資信託のリスク情報。(1人)・金融機関のアカウントから発信される情報が欲しい。(3人)・SNSで動画の情報発信が欲しい(短時間→長時間と遷移)

5. 〈Gr1,Gr2〉積立投資を始めたきっかけ

/ 〈Gr3〉投資に関心を持ったきっかけ

◆全体傾向

- 積立投資実施層は、大学や仕事を通じて**基礎的情報**を得ていたり、友人や配偶者などの**身近な人の成功**や情報がきっかけとなっている。
- 積立投資への理解を深めるに際しては**Instagram**や**YouTube**、**Amazon**でランキング上位の**本**を活用している。
- 結婚や住宅ローンのタイミングでの**銀行担当者**からの提案も積立投資を始めるきっかけになっている。
- 積立投資を始めていない理由に「リスクに対する理解不足」をあげる人が6人中3人いる。

◆積立投資開始前後（きっかけ→決断）

積立投資実施層	
【男性・未婚】	
・銀行の金利が低いので投資を始めることを検討。	→ 親の助言で株式よりも投資信託の方が安定して利益が見込めると思い積立投資を始めた。
・奨学金の返済が完了した。	→ 本屋で「厚切りジェイソンの本」「社長のお金の基本」「米国株の本」を立ち読みして積立投資が良いと思い始めた。
・以前のパートナーが積立の投資信託で運用益を得ていた。	→ 預金も含めてお金の運用を検討し積立投資を始めた。現在は株式に投資している地元の友人と月に2回程度会食しながら情報交換している。
【男性・既婚】	
・中学時代の地元の友人が投資信託で利益を得ていた。	→ うらやましいと思いネットで検索などしているとYouTubeチャンネルの動画で流れるようになり、これを見て理解できたので積立の投資信託を始めた。現在は気に入ったYouTubeチャンネルを登録している。
・企業の確定拠出年金で日本株以外を選んだらプラスになっていた。	→ 株式への投資も考えたがストレスがかかると思い、ちょうどCMでよくNISAを目にしたので投資信託による積立投資を始めた。
・もともと積立の投資信託に興味があった。	→ 使っているクレジットカードのポイントとネット証券が連携したのをきっかけに積立投資を始めた。

5. <Gr1,Gr2>積立投資を始めたきっかけ/ <Gr3>投資に関心を持ったきっかけ

◆積立投資開始前後（きっかけ→決断）

積立投資実施層	
【女性・未婚】	
・大学の授業で預金ではインフレに対応できないことや投資信託の長期保有で利益が出ることは知っていた。	→ 姉に子どもが生まれたことで自分の自立した老後を考えるようになり積立投資を始めた。
・仕事が経理で会計士を目指していることもあり数字には強い。	→ 職場の友だちがやっているという話を聞いてInstagramに情報を取りに行ったら有益な情報が得られた。通販サイト上位の本も読んで納得して積立の投資信託を始めた。
【女性・既婚】	
・Instagramの「節約術」などの投稿に興味を持っていた。	→ 結婚をきっかけに通帳の名義を変えるタイミングで銀行の担当者から案内・提案されたものに納得したので積立投資を始めた。
・郵便局でつみたてNISAのチラシを見て興味を持った後、知り合いでポイ活で投資信託をしている人の話を聞いて強い関心を持った。	→ Instagramに情報が上がるようになり、特にこれまでやっていた学資保険と比較して最終決断した。
・夫が積立投資で成功した。	→ それまで決断できなかったが、夫の成功がきっかけとなり、奨学金を繰り上げ返済し、その分で積立投資を始めた。
・家を購入しローンを組む際に夫が銀行を変え、その際夫がポイントを貯めるためにつみたてNISAを始めた。	→ 自分は銀行の縛りが無いのでネットの評判が良いネット証券&クレジットカードで夫と同じ銘柄を購入した。
積立投資未実施層	
【女性・未婚】	
・銀行のアプリやDMでつみたてNISAの情報は目にしている。	→ 父の投資の失敗を見て怖いと思っていることと、投資はある金額以上投資しないと成功しないと思うので始めていない。
・新卒研修期間中に銀行の人から財形の話やライフプランニングの話があった。	→ 若いころから預金しなければならないと思うが具体的にどうしたらいいかわからず投資を始めていない。
・「1人暮らし」関連の情報を検索する中で、YouTubeで積立投資の重要性を理解した。	→ 新卒で税金額が未定なので2年目に税金金額などが確定したら積立投資を始める。
【女性・既婚】	
・銀行アプリや共通ポイントアプリで情報を見たり、夫が共通ポイントで投資信託を始めたので関心はある。	→ 預金に預けることに納得はしていないが、投資にはギャンブルのイメージがあり踏み切れない。
・2人目の出産をきっかけに夫の保険を見直す際にファイナンシャルプランナーの話を聞いて、子どもの教育費のために投資が必要だという意識を持った。	→ 積立投資に回せるお金が無いので始めていない。但しタバコなどの無駄遣いをしている。
・以前会社勤務の際に確定拠出年金の話を聞いて、積立の投資信託についてはある程度理解している。	→ 自分でリスクやメリットを理解していないので始めていない。

6. <Gr1・Gr2> 現在保有している投資信託商品

/ <Gr3> 今後保有を検討している投資信託商品

◆全体傾向

- 積立投資実施層の男性は**実績**を重視し**米国株**関連の商品投資している人が多い。
- 積立投資実施層の女性は**リスクヘッジ**を重視し**全世界株**関連の商品に投資している人が多い。
- 1人当たりの平均拠出金額は25,000円を超えている。投資信託による積立投資を開始していない人の平均想定拠出金額も20,000円を超えている。

◆グループ

G 1	G 2	G 3
<ul style="list-style-type: none"> 投資信託の商品選定に際しては実績とリスクヘッジを基準にしている。実績とリスクヘッジでは実績を重視する傾向がある。全員が米国株式を中心に考えており、たとえ米国株式が長期間値下がりしても保有し続けるか買い増すと回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託の商品選定に際しては実績とリスクヘッジを基準にしている。実績とリスクヘッジではリスクヘッジを重視し、米国株式とともに世界株式を投資先とする傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 6人中3人が具体的に検討している投資信託商品がある。

◆事前票集計（延べ人数、G3は積立投資を開始すると想定）

【地域】	
米国	7人
全世界	4人
バランス	2人
先進国	1人
新興国	1人

【地域】	
全世界	5人
米国	4人
バランス	2人
先進国	2人

【地域】	
全世界	1人
バランス	1人
先進国	1人
日本	1人
その他	3人
-	2人

【購入先】	
ネット証券	15人

【購入先】	
ネット証券	11人
都市銀行	2人

【購入先】	
ネット証券	6人
都市銀行	1人
労働金庫	1人
その他	1人

7. <Gr1・Gr2> 現在の1ヶ月あたりの拠出金額

/ <Gr3> 今後保有を想定した場合の現在の1ヶ月あたりの拠出金額
/ <Gr1> SDGsや環境問題に特化した投資信託への関心

◆ 1人当たり拠出全額

Gr 1			Gr 2			Gr 3		
合計(円)	本数(本)	1本当たり平均(円)	合計(円)	本数(個)	1本当たり平均(円)	合計(円)	個数(個)	1本当たり平均(円)
56,162	3	18,721	63,333	2	31,667	40,000	2	20,000
33,333	1	33,333	45,333	4	11,333	30,000	1	30,000
24,000	4	6,000	30,000	1	30,000	25,000	1	25,000
20,000	4	5,000	13,000	4	3,250	20,000	2	10,000
15,000	2	7,500	10,000	1	10,000	10,000	1	10,000
10,000	1	10,000	10,000	1	10,000	6,000	2	3,000
【平均拠出金額】1人当たり		26,416円	【平均拠出金額】1人当たり		28,611円	【想定平均拠出金額】1人当たり		21,833円

◆ SDGsや環境問題に特化した投資信託への関心

- 全員がSDGsや環境問題に特化した投資信託への関心は無いとの意見である。
- 業績や株価とSDGsや環境問題への取り組みは連動しないとの考えが多い。

- 単なる流行りなのではないかという気がする。正直いつまでこの流行りが続くか分からないため関心がない。
- 直近で上がったとしても将来的に見ると下がっていきそうなので買おうとは思わない。
- 取り組んでいる企業はすごいと思うが私の生活には影響しない。取り組んでいる企業が今後上がるとも思わない。
- 企業はSDGsをやって当たり前の中。一方で、自分の会社もB Corpをやるためにかなりコストがかかっている。SDGsに力を入れることは収益性低下にもつながる可能性があり、銘柄的には逆にマイナスなイメージがある。

8. <Gr1・Gr2> 積立投資を実施するうえでの満足・不満点 / <Gr1> 周囲への積立投資推奨意向

◆全体傾向

- **ポイント**と投資信託の**利回り**が満足度の因子としてあがっている。
- ホームページの**ユーザーインターフェースの悪さ**が不満の因子であがっている。
- 周囲と積立投資の話をする場面は、**会社や趣味の枠組み**で、自然にテーマとして話す流れがある場合に限られる。

◆満足・不満点

男性		
	満足点	不満点
証券会社	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントがつくこと (5人) ・カードアプリと連携していること (1人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャートが見られない (操作が分からないか?) (1人) ・ホームページのインターフェースが悪い (目的の情報にたどりつけない) (2人)
投資信託	<ul style="list-style-type: none"> ・利回りの高さに満足 (2人) 	

女性		
	満足点	不満点
証券会社	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントがつくこと (3人) ・カードと連携していること (1人) ・ランキングやチャートが見やすいこと (1人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのインターフェースが悪い (目的の情報にたどりつけない) (1人) ・ログインが面倒 (2口座ある) (1人) ・チャット機能が的外れ (1人) ・iDeCo口座の開設に2か月かかる (1人)
銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行は対面での確に提案くれたり質問に回答してくれる (1人) 	
投資信託	<ul style="list-style-type: none"> ・利回りに満足しているので2024年の改正で新しい枠全てまで買い増したい (2人) 	

◆周囲への積立投資推奨意向

- 6人中4人は、自分からお金の話を周囲に話すことは無いとの考えである。
- 新人研修業務を担っているため、金融教育の一環で話すこともある人や、もともと投資の話をする友人が同じ野球チームにいるため、2人の投資の話がほかのチームメンバーに広がる可能性がある人が各1人いる。

9. <提示資料①への感想> 積立モデルシミュレーション

※提示資料はp.29を参照

◆全体傾向

- 既婚層、男性で積立モデルシミュレーションに**ポジティブ**な感想を持つ人が多い。
- 女性では未婚層、特に20代で疑問に感じたり将来のことは分からないとする人が多い。既婚層ではポジティブな感想を持つ人が多い。
- 積立投資未実施層で積立モデルシミュレーションに**予想以上と回答**した人は「**すぐにでも始めたい**」と積極的姿勢に転換している。

◆積立投資開始前後

積立投資実施層	積立投資未実施層
<ul style="list-style-type: none"> • 予想以上が5人、予想通りが3人、疑問に感じる人が2人。将来のことはわからないと感じている人が2人。 • 予想以上、予想通りと感じた人は「早く始めて良かった」「もっと早く始めた方が良かった」など、長期に投資を続けることが大切であると感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 予想以上が4人、疑問に感じる人が2人。疑問に感じる2人は未婚の20代である。 • 予想以上とした4人は「今から始めたい」と、積立投資に積極的な姿勢になった。 • 「過去40年の実績資料」であることに未婚層2人が疑問を感じ、「元本割れリスク1%」であることにリスクが高いと感じる人が2人いる。

◆未既婚

未婚	既婚
<ul style="list-style-type: none"> • 予想以上が2人、予想通りが1人、疑問に感じたり将来のことは分からないとした人が3人で、ネガティブな感想を持つ人が半数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 予想以上が7人、予想通りが2人、疑問に感じる人が1人。既婚者は積立モデルシミュレーションに対してポジティブな感想を持つ人が多い。

◆性別

男性	女性
<ul style="list-style-type: none"> • 予想以上が4人、予想通りが1人、疑問に感じる人が1人。男性は積立モデルシミュレーションにポジティブな感想を持つ人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 予想以上が5人、予想通りが2人、疑問に感じたり将来のことは分からないとした人が5人で、20代や未婚層でネガティブな感想を持つ人が多い。

10. 〈提示資料②への感想〉 家計金融資産のポートフォリオ例

※提示資料はp.31を参照

◆全体傾向

- 積立投資を始めていない人はポートフォリオ例の情報に**ネガティブ**な感想を持っている。(未婚・女性)
- 積立投資を始めている人はポートフォリオ例の情報を見て思ったより**リスクが少ない**と感じている。(未婚・女性)
- 女性既婚層は投資信託開始の有無にかかわらずポートフォリオ例の情報全般に**ポジティブ**かつ**積極的**な感想を持つ人が多い。(既婚・女性)

◆積立投資開始前後

積立投資実施層	積立投資未実施層
<ul style="list-style-type: none"> • Aパターンが良いと感じた人が2人、Bパターンが5人、Cパターンが3人いる。 • Cパターンが良いとする人はリスクの少なさに着目し、Bパターンが良いとする人は予想よりリスクが少ないことや、将来のインフレリスクへ対応できることに着目している。 • 自身はAパターンを選ぶとしつつも、「投資＝負けない」ことを強調した資料に感じてしまうとの感想を持つ人も1人いた。 	<ul style="list-style-type: none"> • Aパターンが良いと感じた人が2人、Cパターンが1人いる。ポートフォリオ例の情報を見て投資への姿勢がポジティブに転換している。うち1人は、これまで受けてきたアドバイスは「小額から始められる」「簡単に始められる」というものばかりだったが、「今始めた場合、将来どうなるのか」という情報は理解しやすく関心が高いとの感想を持っている。 • 未婚層3人はポートフォリオの情報に何らかの疑問を感じている。

◆未既婚

未婚	既婚
<ul style="list-style-type: none"> • 積立投資を始めている未婚層5人では、Bパターンが良いとする人が3人、Cパターンが2人である。積立で投資信託をしていない未婚層3人はポートフォリオ例の情報に何らかの疑問を感じているが、うち1人は、自身の想像（10年後に1%増程度）よりもリターンが良く、シミュレーションをもっと早く知りたかったとの感想を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • Aパターンが良いと感じた人が4人、Bパターンが2人、Cパターンが1人いる。その他資料にポジティブな感想を持つ人が2人おり、既婚層はポートフォリオ例の情報にポジティブかつ積極的な感想を持つ人が多い。

◆性別

男性	女性
<ul style="list-style-type: none"> • Aパターンが良いと感じた人が1人、Bパターンが2人、Cパターンが3人いる。男性はリスクの少なさに着目した意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> • Aパターンが良いと感じた人が3人、Bパターンが3人と、その他ポートフォリオ例の情報をポジティブに評価した人が1人いる。女性の未婚層で積立投資を始めていない人はポートフォリオ例の情報にネガティブな感想を持っており、積立投資を始めている人は予想よりリスクが少ないと感じている。 • 既婚層はポートフォリオ例の情報全般にポジティブかつ積極的な感想を持つ人が多い。

11. 〈提示資料③への感想〉ドルコスト平均法

※提示資料はp.32を参照

◆全体傾向

- 積立投資実施層は、**全員がイメージ通り**であると感じ「ドルコスト平均法」にポジティブな感想を持っている。
- 積立投資未実施層の未婚層は、長期の未来への関心が無いなど「ドルコスト平均法」に**ネガティブ**な感想を持っている。
- 積立投資未実施層の既婚層は、「ドルコスト平均法」を**ポジティブ**に評価し、「イメージ通り」「積立への理解が促進された」なども感想を持っている。

◆積立投資開始前後

積立投資実施層	積立投資未実施層
<ul style="list-style-type: none">● 全員がイメージ通りであると感じ積立のメリットを改めて感じている。12人中4人はケース1も無いわけでは無いとしつつも、願望もこめて、現実ではケース2・3であろうと感じている。	<ul style="list-style-type: none">● 6人中4人が何らかのリスクを感じている。この4人のうち1人は「グラフに加えて言葉での説明が欲しい」と感じていて、1人は「自分が保有を検討しているファンドの個別のグラフを見たい」と感じている。

◆未既婚

未婚	既婚
<ul style="list-style-type: none">● 未婚層では「ドルコスト平均法」を理解している人が積立投資を始めており、「ドルコスト平均法」を理解していなかったり、長期の未来への関心が無い層が積立の投資信託を始めている。	<ul style="list-style-type: none">● 既婚層は積立投資未実施者を含めて「ドルコスト平均法」をポジティブに評価し、「イメージ通り」「積立への理解が促進された」なども感想を持っている。

◆性別

男性	女性
<ul style="list-style-type: none">● 全員が積立投資実施者なので、全員がイメージ通りであると感じ積立のメリットを改めて感じている。	<ul style="list-style-type: none">● 未婚の積立投資未実施者が、長期の未来への関心が無いなど「ドルコスト平均法」にネガティブな感想を持っている。

APPENDIX

1. フロー
2. 事前調査票
3. 提示素材

1. フロー <積立投資実施層>

■ 積立投資普及のための

① 積立投資直近1年開始生活者GI インタビューフロー

■ 実施グループ数 2グループ(1GR6人)

20～30代で投資信託による積立投資を直近1年以内に開始した人
内訳 Gr1 男性グループ Gr2 女性グループ

■ 目的：積立投資の実施阻害要因を明らかにし、今後のコミュニケーションのヒントを得ること

Time Table	重要度	質問内容	留意点
		0. 導入	
		(1) 趣旨説明 個人情報：分析を目的として録音・録画し、取得した情報は、漏洩がないように管理する。 録音・録画の内容は、担当者が分析のみを目的として閲覧する。	
		(2) 対象者の属性確認とファシリテーターとのラポール形成 - ファシリテーターの自己紹介 - 対象者の属性確認	
0:05	0:05		
		1. 金融情報収集	
		(1) 金融情報収集するようになったきっかけ - きっかけとなった情報や出来事	
		(2) 金融教育の経験 - 時期、主催者、内容、感想	
		(3) 金融情報収集媒体・タイミング・頻度・内容 - 金融情報全般 - 積立投資検討時	
		(4) 保有している積立で投資をしている投資信託 - 運用会社、投資先・種類、保有金額、購入時期、投資信託の特徴 - 利用しているその他の金融商品、購入時期	
0:30	0:25		
		2. 積立投資の目的	
		(1) 積立投資の目的 - ライフイベント、ライフステージ、その他	
		(2) 投資信託購入時の重視点 - 実績・データ、運用会社、商品の特徴 - 運用会社・商品の特徴の重視点を具体的に	
0:50	0:20		

Time Table	重要度	質問内容	留意点
		3. 投資信託購入プロセス	
		(1) 投資信託購入プロセスの段階別情報接触 - 「認知」「関心」「検討」「比較」「決定」段階別の接触媒体の種類・時期 - 各段階で投資信託購入への関心が高まった情報の内容 - 各段階で投資信託購入への不安や疑問が高まった情報の内容	
		(2) 投資信託購入時の商品決定要因 - 保有する投資信託商品に「決定」した要因 - 比較したが購入に至らなかった理由	
		(3) 保有する投資信託の満足点、優れている点。 - 積立投資全般 - 保有している商品	
		(4) 保有する投資信託の不満足点、劣っている点。 - 積立投資全般 - 保有している商品	
1:25	0:35		
		4. 提示物に対する反応	
		(1) 積立モデルシミュレーション - 「積立モデルシミュレーション」を見て感想 - これまでの自分の認識とのギャップの有無	提示資料①
		(2) ポートフォリオ - 「預貯金」「日本株式」「海外株式(先進国・新興国)」「日本債券」 「海外債券(先進国・新興国)」「リート」「金」それぞれに対するイメージ、関心 - 「ポートフォリオ」を見て感想 - これまでの自分の認識とのギャップの有無	提示資料②
		(3) ドルコスト平均法 - 「ドルコスト平均法」を見て感想 - これまでの自分の認識とのギャップの有無	提示資料③
1:55	0:30		
		5. 追加質問・クロージング	
		追加質問、クロージング	
2:00	0:05		

1. フロー <積立投資未実施層>

■ 積立投資普及のための

② 積立投資を実施しようとしているが未だしていない生活者GI インタビューフロー

■ 実施グループ数 1グループ(1GR6人)

20～30代で投資信託による積立投資を実施しようと思っているが未だしていない人
内訳 Gr3 女性グループ

■ 目的：積立投資の実施阻害要因を明らかにし、今後のコミュニケーションのヒントを得ること

Time Table	重要度	質問内容	留意点
0. 導入			
		(1) 趣旨説明 個人情報：分析を目的として録音・録画し、取得した情報は、漏洩がないように管理する。 録音・録画の内容は、担当者が分析のみを目的として閲覧する。	
0:05	0:05	(2) 対象者の属性確認とファシリテーターとのラポール形成 - ファシリテーターの自己紹介 - 対象者の属性確認	
1. 金融情報収集			
		(1) 金融情報を収集するようになったきっかけ - きっかけとなった情報や出来事	
		(2) 金融教育の経験 - 時期、主催者、内容、感想	
		(3) 金融情報収集媒体・タイミング・頻度・内容 - 金融情報全般 - 積立で投資をしている投資信託検討時	
		(4) 関心のある投資 - 運用会社、投資先・種類、保有金額、購入時期、投資信託の特徴 - 関心のあるその他の金融商品、購入時期	
0:30	0:25		
2. 積立投資の検討理由			
		(1) 積立投資を検討している理由 - ライフイベント、ライフステージ、その他	
		(2) 投資信託を選定する場合の重視点 - 実績・データ、運用会社、商品の特徴 - 運用会社・商品の特徴の重視点を具体的に	
0:50	0:20		

Time Table	重要度	質問内容	留意点
3. 投資信託検討プロセス			
		(1) 投資信託購入プロセスの段階別情報接触 - 「認知」「関心」「検討」「比較」「決定」のうち現在の段階と段階別の接触媒体の種類・時期 - 各段階で投資信託購入への関心が高まった情報の内容 - 各段階で投資信託購入への不安や疑問が高まった情報の内容 - 投資信託の購入に至らない理由	
		(2) 投資信託検討時の商品関心要因 - 検討している商品に「関心がある」理由 - 比較したが検討対象から外れた商品	
		(3) 検討している投資信託の満足点、優れていると感じる点。 - 検討している投資信託全般 - 関心のある商品	
		(4) 検討している投資信託の不満点、劣っていると感じる点。 - 検討している投資信託全般 - 検討対象から外れた商品	
1:25	0:35		
4. 提示物に対する反応			
		(1) 積立モデルシミュレーション - 「積立モデルシミュレーション」を見て感想 - これまでの自分の認識とのギャップの有無	提示資料①
		(2) ポートフォリオ - 「預貯金」「日本株式」「海外株式(先進国・新興国)」「日本債券」「海外債券(先進国・新興国)」「リート」「金」それぞれに対するイメージ、関心 - 「ポートフォリオ」を見て感想 - これまでの自分の認識とのギャップの有無	提示資料②
		(3) ドルコスト平均法 - 「ドルコスト平均法」を見て感想 - これまでの自分の認識とのギャップの有無	提示資料③
1:55	0:30		
5. 追加質問・クロージング			
		追加質問、クロージング	
2:00	0:05		

2. 事前調査票 <積立投資実施層>

事前アンケート (Gr.1、Gr.2)

このたびは、座談会にご参加いただきまして、ありがとうございます。
事前に本アンケートにご記入いただき、座談会当日ご持参くださいますようお願い申し上げます。

◆あなたが持っている投資信託でのつみたて投資の「投資信託の名称」「運用している会社」「運用している口座」「開始時期」「毎月拠出する金額」をご記入ください。

Q1. 投資信託の名称を具体的に ご記入ください。	Q2. 運用している会社名を具体 的にご記入ください。	Q3. 運用している口座の種類をそれ ぞれ1つ選んで○印をご記入 ください。	Q4. 開始時期をご記入くだ さい。	Q5. 毎月拠出する金額をご記 入ください。										
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月	円
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月	円
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月	円
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月	円
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													

2. 事前調査票 <積立投資未実施層>

事前アンケート (Gr.3)

このたびは、座談会にご参加いただきまして、ありがとうございます。
事前に本アンケートにご記入いただき、座談会当日ご持参くださいますようお願い申し上げます。

◆あなたが検討している投資信託でのつみたて投資の「投資信託の名称」「運用している会社」「運用している口座」「開始時期想定」「毎月拠出する金額想定」をご記入ください。

Q1. 検討している投資信託の名称や内容をご記入ください。	Q2. 検討している投資信託を運用している会社名や金融機関の種類をご記入ください。	Q3. 検討している投資信託を運用する口座の種類をそれぞれ1つ選んで○印をご記入ください。現在の想定で結構です。	Q4. 投資信託を始める場合の最も早い開始時期をご記入ください。	Q5. 毎月拠出する金額のイメージをご記入ください。										
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月 ころ	円くらい
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月 ころ	円くらい
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月 ころ	円くらい
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													
		<table border="1"> <tr><td>1</td><td>つみたてNISA口座</td></tr> <tr><td>2</td><td>IDeco口座</td></tr> <tr><td>3</td><td>企業型DC</td></tr> <tr><td>4</td><td>証券会社の一般/特定口座</td></tr> <tr><td>5</td><td>銀行の投資信託口座</td></tr> </table>	1	つみたてNISA口座	2	IDeco口座	3	企業型DC	4	証券会社の一般/特定口座	5	銀行の投資信託口座	年 月 ころ	円くらい
1	つみたてNISA口座													
2	IDeco口座													
3	企業型DC													
4	証券会社の一般/特定口座													
5	銀行の投資信託口座													

3. 提示素材

提示資料① 「積立モデルシミュレーション」

20代 **1万円**から始めるパターン

20代 **1.5万円**から始めるパターン

20代 **2万円**から始めるパターン

(単位：円)

	毎月拠出する金額			毎月拠出する金額			毎月拠出する金額	
20代	10,000		20代	15,000		20代	20,000	
30代	15,000		30代	20,000		30代	30,000	
40代	20,000		40代	30,000		40代	40,000	
50代	30,000		50代	40,000		50代	60,000	

年代	積立拠出額	積立評価額	年代	積立拠出額	積立評価額	年代	積立拠出額	積立評価額
20代			20代			20代		
10年後	1,200,000	1,608,148	10年後	1,800,000	2,412,221	10年後	2,400,000	3,216,295
20年後	3,000,000	5,238,289	20年後	4,200,000	7,455,397	20年後	6,000,000	10,476,579
30年後	5,400,000	12,421,769	30年後	7,800,000	17,926,137	30年後	10,800,000	24,843,539
40年後	9,000,000	26,653,759	40年後	12,600,000	37,934,972	40年後	18,000,000	53,307,519
30代			30代			30代		
10年後	1,800,000	2,412,221	10年後	2,400,000	3,216,295	10年後	3,600,000	4,824,443
20年後	4,200,000	7,455,397	20年後	6,000,000	10,476,579	20年後	8,400,000	14,910,794
30年後	7,800,000	17,926,137	30年後	10,800,000	24,843,539	30年後	15,600,000	35,852,274
40代			40代			40代		
10年後	2,400,000	3,216,295	10年後	3,600,000	4,824,443	10年後	4,800,000	6,432,591
20年後	6,000,000	10,476,579	20年後	8,400,000	14,910,794	20年後	12,000,000	20,953,157
50代			50代			50代		
10年後	3,600,000	4,824,443	10年後	4,800,000	6,432,591	10年後	7,200,000	9,648,886

※各年代の違いは、それぞれの年代から始めた場合の資産額を示す。

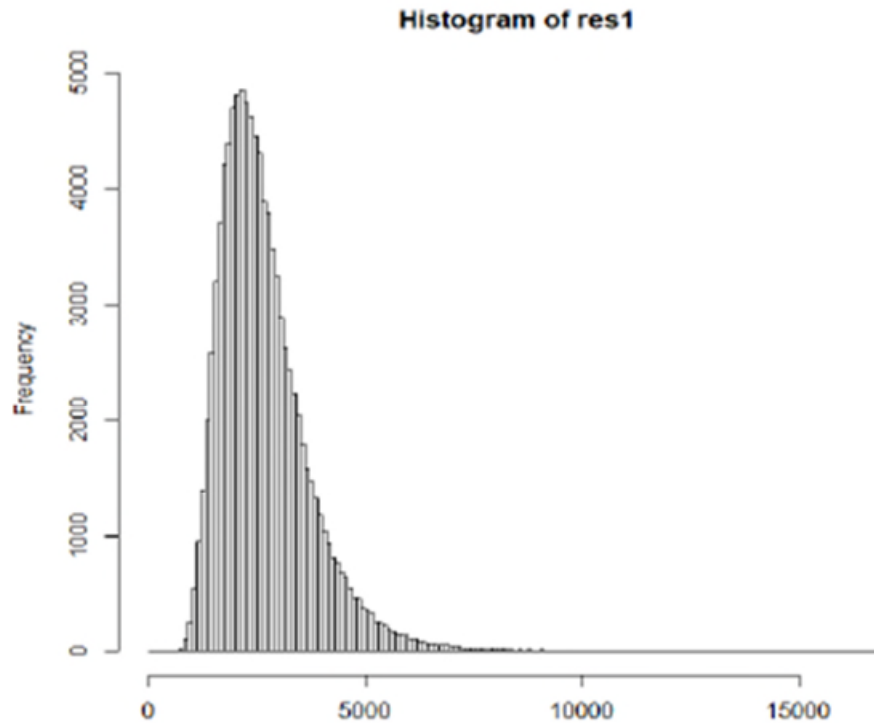
3. 提示素材

提示資料① -2 「積立モデルシミュレーション」

20代 **1万円**から始めるパターン

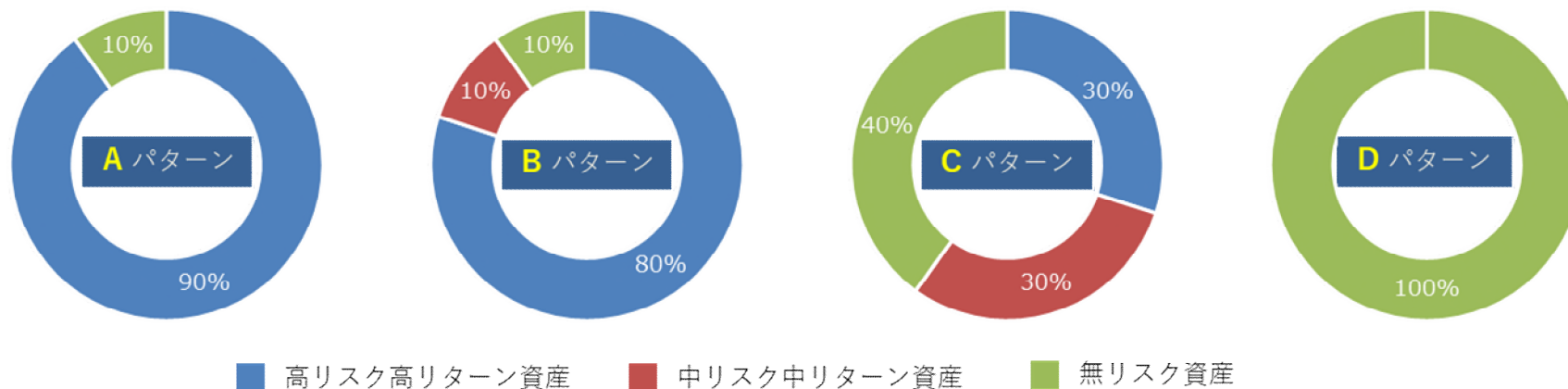
モンテカルロシミュレーション結果 パーセンタイル値と平均(万円)

	1%	5%	10%	25%	50%	平均	75%	90%	95%	99%
国際分散投資	1109	1387	1570	1934	2463	2668	3169	4012	4638	6133



3. 提示素材

提示資料② 「家計金融資産ポートフォリオ例」



100万円投資した場合の20年後の予想額※

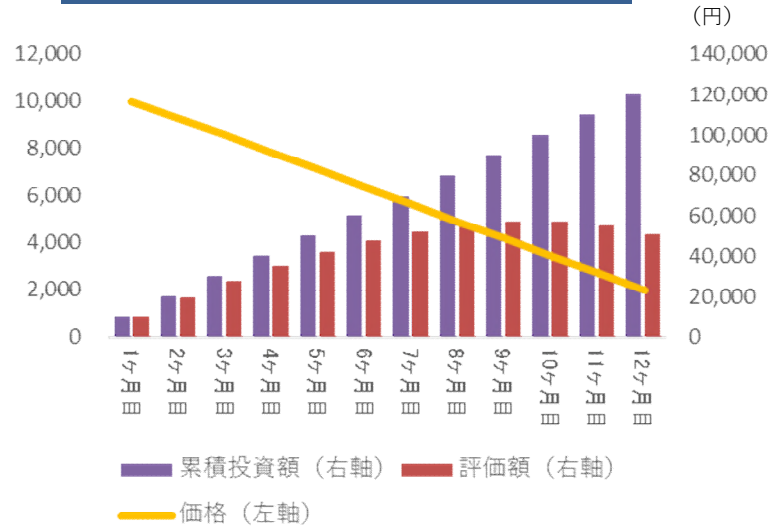
	平均	良いケース	悪いケース
Aパターン	497万円	862万円	132万円
Bパターン	441万円	727万円	155万円
Cパターン	199万円	246万円	152万円
Dパターン	102万円		

※過去20年の実績に基づくシミュレーションです。約7割の確率で良いケースと悪いケースの間に収まると予想されます。

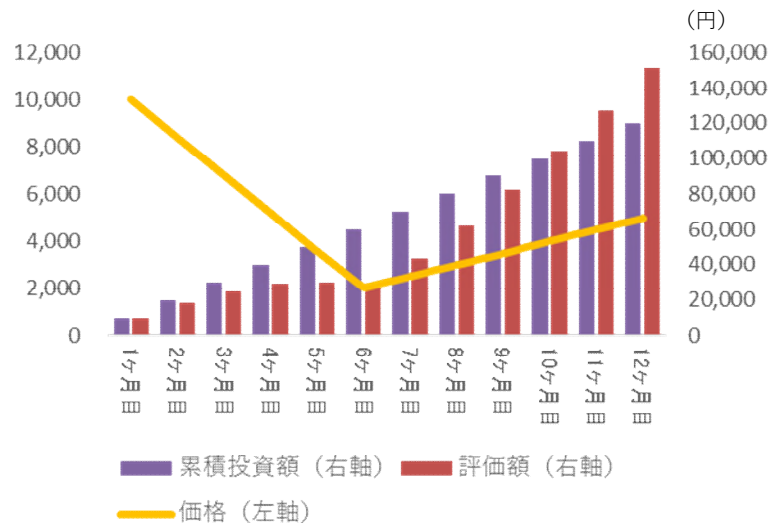
3. 提示素材

提示資料③ 「ドルコスト平均法」

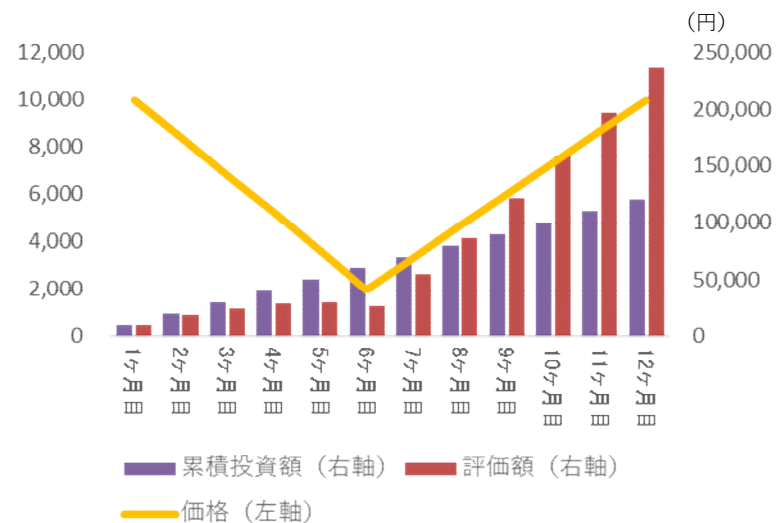
ケース1 値下がりし続けるケース



ケース2 値下がりしてから元本まで戻らないケース



ケース3 値下がりするも元本まで戻ったケース



3. 提示素材(注釈)

◆ 提示資料①及び①-2 出所：2021年5月20日 投資信託協会 調査広報室レポート（つみけん2020報告書より）

国際分散投資のリターン・リスク

- ・国際分散=均等分散
- ・データ期間：1970年1月から2020年10月まで（外国債券のみ1985年1月から）
- ・利用した指数

国内債券	Nomura-BPI総合
国内株式	TOPIX(配当込み)
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし）
外国株式	MSCI-KOKUSAI（配当込み、ヘッジなし）

- ・リターン 6.85%—株式投資信託報酬平均（2020年10月末値）1.05%=5.80%
- ・リスク 9.29%

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	国際分散
平均	5.06%	7.37%	4.95%	8.61%	6.85%
標準偏差	3.26%	17.77%	10.17%	17.92%	9.29%

◆ 提示資料②

作成：投資信託協会 広報部調査広報室

	リターン	リスク
Aパターン	8.35%	16.42%
Bパターン	7.70%	14.52%
Cパターン	3.5%	5.30%
Dパターン	0.12%	0%

資産／利用した指数（データ期間：2002年10月から2022年10月まで）	平均リターン/ 標準偏差	良いケース (+1σ)	悪いケース (-1σ)
高リスク高いリターン資産／日本含む世界株式 MSCI World net total Return 円建て	9.11%/ 18.25%	27.4%	-9.2%
中リスク中リターン資産／世界債券 FTSE WGBI 円建て	1.28%/ 3.37%	4.7%	-2.1%
無リスク資産／同期間の定期預金金利平均	0.1%/ 0%		

◆ 提示資料③

作成：投資信託協会 広報部調査広報室